

(5) 教職実践に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目		必修選択の別		単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容	備 考
			学校教育							
	科 目	科目番号	科 目 名	小 コース						
教 育 実 習	教職151	介護等体験指導	選必	選必	1	0－2	1	後	介護等体験のための事前指導	1科目必修 (※特別支援教育専攻は除く)
	教共151	介護等体験指導	選必	選必	1	0－2	1	後	介護等体験のための事前指導	
	教職161	教職体験Ⅰ(小)	必	自	1	0－2	1	後	主として附属小学校での実習参加型観察することを目的とする	
	教職162	教職体験Ⅰ	自	必	1	0－2	1	後	主として附属中学校での実習参加型観察することを目的とする	
	教職261	教職体験Ⅱ(小)	必	自	1	0－2	2	前	公立小学校等での実習参加型観察することを目的とする	
	教職262	教職体験Ⅱ	自	必	1	0－2	2	前	公立中学校等での実習参加型観察することを目的とする	
		子215	子ども学フィールドワーク	必	自	2	0－2	2	前	多様な学びの文化を、特定の「場＝フィールド」を通して考察し、同時代的・創造的な教育プログラムについて実践探求する
	特支207	インクルーシブ教育フィールドワーク	必	必	1	0－2	2	後	公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかでの、実習参加型観察することを目的とする	特別支援教育必修
	教職360	学校教育実践研究(小)	必	自	1	0－2	3	通年	小学校教育実習のための事前事後指導	小学校教育コース
	教職361	小学校教育実習A	必	一	4	3週間	3	前	附属小学校における教壇実践その他。「学校教育実践研究(小)」を同時履修のこと	
	教職461	小学校教育実習B	自	自	2	2週間	4	前・後	公立等小学校における教育実習	
	教職462	小学校教育実習C	自	自	4	4週間	4	前・後	公立等小学校における教育実習	
	教職481	幼稚園教育実習A	自	自	4	4週間	4	前・後	公立等幼稚園における教育実習	
	教職482	幼稚園教育実習B	自	自	2	2週間	4	前・後	公立等幼稚園における教育実習	
	教職370	学校教育実践研究	自	必	1	0－2	3	通年	中学校教育実習のための事前事後指導	中学校教育コース
	教職371	中学校教育実習A	一	必	4	4週間	3	前	附属中学校における教壇実践その他。「学校教育実践研究」を同時履修のこと	
	教職471	中学校教育実習B	自	自	2	2週間	4	前・後	公立等中学校における教育実習	
	教職472	中学校教育実習C	自	自	4	3週間	4	前・後	公立等中学校における教育実習	
	教職473	高等学校教育実習	自	自	2	2週間	4	前・後	公立等高等学校における教育実習	
	教共401	教職実践研究	自	自	1	0－1	4	前・後	教職実践演習へ向けての予備的授業	教職実践演習クラスによっては登録条件科目
教職実践演習	教職491	教職実践演習	必	必	2	0－2	4	前・後	教員として必要な最小限の資質能力を形成し、確認しあう。	登録前提科目を全て履修済であること
	教共354	離島・へき地校体験実習	自	自	2	0－4	3～4	前又は後	一定期間滞在しながら離島・へき地学校における現場体験をとうして教育課題を考える	

※教育実習の登録条件及び教職実践演習の登録条件(次ページ参照)

教育実習の登録条件(令和5年度入学生より)

●教育学部 教育実習の登録条件(附属小学校・中学校実習)【主免用】

【登録条件】教育実習登録時に以下の(1)～(3)の条件を満たすことが必要となります。

- (1)以下の科目を履修済みであること。(附属小・附属中共通)
- ①「教職入門」②「教育原理」③「介護等体験指導」④「教職体験Ⅰ(小)」又は「教職体験Ⅰ」 ⑦「教職体験Ⅱ(小)」又は「教職体験Ⅱ」(子ども教育開発専修の学生は「子ども学フィールドワーク」、特別支援教育専攻の学生は「インクルーシブ教育フィールドワーク」)
- (2-1)以下の科目を履修済み又は同時履修中であること。(附属小)
- ⑤「特別の支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援」⑥「教育におけるICT活用」⑧「教育心理学」⑨「教育課程(教諭)」⑩「教育方法(教諭)」
⑪「生徒指導論(進路指導)(教諭)」⑫「特別活動論(教諭)」 ⑬「道德教育の理論と実践A(教諭)又はB(教諭)」⑭「教育相談(教諭)」又は「学校カウンセリング(教諭)」
⑮「小学校教科」12単位以上(特別支援教育専攻は6単位以上)⑯「各教科の指導法(小学校)8単位以上
- (2-2)以下の科目を履修済み又は同時履修中であること。(附属中)
- ⑤「特別の支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援」⑥「情報通信技術を活用した教育の理論と方法の科目(仮称)」⑧「教育心理学」⑨「教育課程(教諭)」⑩「教育方法(教諭)」
⑪「生徒指導論(進路指導)(教諭)」⑫「特別活動論(教諭)」⑬「道德教育の理論と実践A(教諭)又はB(教諭)」⑭「教育相談(教諭)」又は「学校カウンセリング(教諭)」
⑯「中学校教科」14単位以上⑯「各教科の指導法(中学校)2単位以上
- (3-1)以下の科目を同時履修すること。(附属小)
- ⑯「学校教育実践研究(小)」
- (3-2)以下の科目を同時履修すること。(附属中)
- ⑯「学校教育実践研究」

上記条件 該当項目	科目名	受講年次	条件①		条件②	備考
			履修済み	同時履修		
附属 小中 共通	① 教職入門	1年前期	○			
	② 教育原理	1年後期～2年前期	○			
	③ 介護等体験指導	1年後期	○			※特別支援教育専攻は免除
	④ 教職体験Ⅰ(小) or 教職体験Ⅰ	1年後期	○			
	⑤ 特別の支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援	1年後期	○	○		
	⑥ 教育におけるICT活用	1年後期	○	○		
	教職体験Ⅱ(小) or 教職体験Ⅱ	2年前期				
	子ども学フィールドワーク(※子ども教育開発専修のみ)	2年前期	○			
	インクルーシブ教育フィールドワーク(※特別支援教育専攻のみ)	2年後期				
	⑧ 教育心理学	2年前期	○	○		
	⑨ 教育課程(教諭)	2年前期	○	○		
	⑩ 教育方法(教諭)	2年前期	○	○		
	⑪ 生徒指導論(進路指導を含む)(教諭)	2年前期～2年後期	○	○		
	⑫ 特別活動論(教諭)	2年前期～3年前期	○	○		
附属小	⑬ 道德教育の理論と実践A(教諭)	2年後期～3年前期	○	○		
	⑬ 道德教育の理論と実践B(教諭)	3年前期				
附属中	⑭ 教育相談(教諭)	2年後期～3年前期	○	○		
	⑭ 学校カウンセリング(教諭)	2年後期～3年前期	○	○		
附属小	⑮ 小学校教科	1年前期～3年前期	○	○	12単位以上(特別支援教育は6単位以上)	
附属中	⑯ 各教科の指導法(小学校)	2年前期～3年後期	○	○	8単位以上	
	⑯ 中学校教科		○	○	14単位以上	
附属小	⑯ 各教科の指導法(中学校)		○	○	2単位以上	
附属小	⑰ 学校教育実践研究(小)	3年通年		○		
附属中	⑰ 学校教育実践研究	3年通年		○		

※教育実習の登録条件にはなっていないが免許取得には必修となる教職科目

	科目名	受講年次
必	総合的な学習の時間の授業づくり	2年後期
	教育社会学	3年前期～3年後期

●教育学部 教育実習の登録条件(公立実習)【副免用】

- (1) 附属学校(小学校or中学校)の教育実習を履修済であること。
- (2) 当該免許に係る学校種(教科)の指導法を履修済み又は同時履修すること。
- (3) 副免用(※主免と学校種が違う場合)の学校教育実践研究を履修中であること。

●教育学部 教育実習の登録条件(幼稚園教育実習)【副免用】

- (1) 小学校教育実習を履修済み又は同時履修すること。
- (2) 「幼稚園教育課程の編成方法」、「幼児の教育方法」及び「幼児理解」を履修済みであること
- (3) 「幼稚園教育基礎実践」(事前指導科目)を履修済みであること。

●教職実践演習の登録条件

- (1) 卒業要件の免許(原則として小学校教育コースにあつては小一種、中学校教育コースにあつては中一種など)必須科目を履修済みであること。
 - ※必須科目には共通教育科目「憲法概論」・「情報科学演習」・「健康・スポーツ科学」又は「運動・スポーツ科学」・外国語科目(大学英語等)を含む。
 - (上記、共通教育科目は教員免許法施行規則第66条の6に該当する科目である)
 - ※「教職実践研究」を履修済みであることが登録条件のクラスあり。